

地域おこし協力隊だより

道の駅イベント

「冬物語」

北野 愛美

みなさんこんにちは。今月号担当の北野です。

今回は、先日道の駅「香りの里たきのうえ」で開催されたイベント「冬物語」についてお話しします。このイベントは、毎年紋別市で開催される「流水まつり」に合わせて、オホーツクエリアをより盛り上げようと開催しているイベントで、今年は二月八日から十日の日程で開催しました。

初日は、西興部村の協力隊とのコラボレーション企画で、滝上産小麦粉きたほなみと西興部産の豆を使った「蒸しパン作り体験」を実施しました。テントの中に設置した薪ストーブの上に蒸し器を置きます。そして、紙コップに生地を流し入れ、お好みでさくら豆と中長うずら豆をトッピングして十分から十五分ほど蒸すと出来上がりです。

また、西興部村のジャム四種類（ほおずき・トマト・葡

萄・バターナッツスクワッシュ）を用意して、出来立ての蒸しパンにお好みでそのジャムをつけて提供しました。

お隣り同士の滝上町と西興部村ですが、お互いにまだまだ知らない美味しい特産品があることを知りました。今回のように、周辺地域と協力してイベントや商品開発などを行うことで、各々の特産品をアピールする機会も増え、オホーツク地域全体の活性化にも繋がるのではないかと思います。

もうひとつ、協力隊としては、滝上町の冬の味覚でもある七面鳥から出汁をとった「すいとん汁」を販売。すいとんには、滝上産小麦粉きたほなみ、具には滝上産根曲がり竹を使用しています。当日、道の駅に立ち寄っていただいた観光客の皆さんを中心に提供しました。あまり馴染みのない七面鳥に、初めはどのようなものか、という感じで眺めていましたが、ひとくち召し上がると「美味しい！」とスープまで残さず完食していました。大半のお客さんは、

七面鳥が滝上町の特産品であることをご存知なかったのので、対面で説明しながらPRすることができました。

また、生産者の七面鳥生産組合の方々にも試食していただき「うどんと合わせても美味しいのではないかとアドバイスをいただきました。出汁の取り方によっては洋風にも和風にもアレンジができるので、料理の幅も広がります。

今回のイベントを通して、滝上町の特産品を多くのお客さんに知っていただくことができ、大変有意義であったと思います。



▼問い合わせ先

まちづくり推進課

☎29-2111(内254)

よこじろ通信



【高知県越知町】

1月19日(日)、第35回越知町ピタリロードレース大会が行われました。

この大会は、あらかじめ申告しておいたタイムと、当日タイムとの差を競うものです。昨年は雨のため中止となっていました。今年も天気に恵まれ、町内外から少年団体や一般の参加者約100名が、3km・5kmのコースをそれぞれのペースで走りました。中学校野球部による楽しい準備体操から始まり、高知フアイティングドッグスの新入団選手も紹介されて一緒に走り、ゴールした後はストラックアウトで子どもたちと交流してくれました。



第35回越知町ピタリロードレース大会が開催されました